

おおくまの絆



Contents

- 大熊町合同追悼式 2
- 顔晴ろう!大熊(歌の交流会) 3
- 加藤和さんオリンピック出場! 4・5
- 大熊中学校卒業式&熊町小大野小合同入学式 6・7
- スマイルネットワーク「あお整骨院」 8
- 社協からのお知らせ 9
- トピックス 10
- みんなのフォトギャラリー 11
- キラキラキッズ「大熊リトルベアーズ」 12



東日本大震災犠牲者大熊町合同追悼式

3月11日 大熊町合同追悼式

保
セ
天
モ
ニ
ー
ホ
ー
ル
恵
苑

東日本大震災から一年が経過した三月十一日、会津若松市で大熊町合同追悼式が挙行され、遺族などが参列されました。

会場では、東京で開かれた政府主催の追悼式の様子も放映され、地震が発生した十四時四十六分に合わせ一緒に黙祷を捧げました。

渡辺利綱町長は、式辞で、除染作業のモデル事業や中間貯蔵施設の話に触れ、「復興検討委員会や議会など一丸となり、しっかりとした復興計画をつくり、少しでも先の軌道が見えるような形で取り組んでいきたい」と決意を語りました。

また、式では、この日の午前中に大熊町内で開かれた、慰霊式典と復興祈念植樹の様子も上映されました。



「陽の光あふれるふるさと大熊の復興」を祈念し植樹された10本のさくら「陽光」



祭壇には、会津若松市と歴史的に深い繋がりがあある三重県桑名市から送られた「桑名の千羽鶴」が供えられていました。桑名の千羽鶴は、二二〇年ほど前に考案された一枚の紙から折る連鶴。桑名の千羽鶴保存会は、「絆」プロジェクト「桑名」と名付け、東日本大震災の被災地復興を願い、市民らが思いを込めて折ってメッセージを添えた連鶴を被災地へ贈っているということです。

長崎県島原市と島原花卉生産組合からは、雲仙・普賢岳の土石流災害により壊滅的な被害を受けながら、農地として蘇った地域で育てられた白菊が贈られました。





「がんば 顔晴ろう!大熊」 ((歌の交流会))

5月25日(金)

at 大熊町立小学校
会津若松分校



五月二十五日、大熊町立小学校会津若松分校に、石川県金沢市のジャズシンガー堀夏奈子さんが訪れました。今回の訪問は、以前、熊町小学校に通っていた根本葵さんとの出会いから生まれ、「震災で自宅に戻れない方々の歌声を故郷被災地に届けたい」という思いから企画されました。

葵さんは現在、金沢市内の小学校に通う小学校5年生。震災以降、家族で避難をしている金沢市で堀さんと出会ったのが昨年の夏。その時堀さんは、避難者と一緒に歌う応援歌のCD制作を検討しており、もともと歌が好きだった葵さんが参加することになりました。CD制作への参加がきっかけで、堀さんのところでレッスンを受けるようになり、葵さんの表情がいきいきしてきたと母親の雅美さんは話します。このCD「Dreams Come True」には、堀さんが作詞作曲をした「We are Family〜僕は家族〜」が収録されています。この曲には「離れていてもみんな



繋がっている家族だよ」という気持ちが入められているそうです。葵さんはこの曲の「共に笑い喜び 共に讃えあおう」という歌詞が特に好きで、当日は「We are Family」を堀さんと共に歌い上げました。

また、同CDにも収録されている「故郷〜My Home Town〜」では、県外に避難している子供達がMCとして参加していて、今は会えない友達へメッセージが届けられました。

会の最後には、葵さんが4月からこの日の為に練習してきたという「翼をください」をピアノの弾き語り披露し、会場中が一緒に合唱すると体育館はさながらライブ会場のような熱気につまれました。



← 中学時代のレースより



先日、帰省した時の様子
母校の壮行会に出席するなど
多忙でした

福島県出身

か とら いずみ

加藤 和選手 女子200m個人メドレー

オリンピック出場おめでとう!

両親が体育教師ということもあってか、子供の頃から運動が大好きだったという和さん。水泳はもちろん、その他にもフットベイスポールやバスケットボール、陸上競技なども行っていたそうです。その中で一番好きだった水泳を選び、本格的に選手コースでトレーニングを始めたのが小学校五年生の時。一年後のジュニアオリンピックでは六位に入賞したというから、その努力と才能には驚かされます。

先日行われた競泳日本選手権の女子200m個人メドレーで、2分11秒79の自己ベストのタイムで優勝し、見事ロンドンオリンピックの代表となった加藤和選手。

母親の加藤かの子さんは大熊町のご出身で、祖母の鈴木豊子さん、叔母の鈴木理恵さんは大熊町で暮らしていました。今回は和さんの出身地でもあり、豊子さん、理恵さんが現在暮らしている福島市を訪ね、お話を伺いました。

「母親として、これはすごいことだと思っていました。和はくやしがついていました」とかの子さんは当時のことを語ります。この和さんの「負けたくない」という気持ち、今回のオリンピック出場という成果となって表れたのかもしれない。



加藤かの子さん

その後、桜の聖母学院の中学校・高等学校へ進み、数々の大会で輝かしい成績を残した和さんは、「オリンピック」という目標をしっかりと捉えられるようになりました。四年前、桜の聖母短大在学中には北京オリンピックの選考会へ挑みましたが、あと一歩及ばず。オリンピック出場へは届きませんでした。競技生活を続けるかどうか、様々な葛藤があったといいます。しかし、やはりオリンピック出



小学生の時、相馬の海岸で



保育園に通っていた頃の水泳クラブでの一コマ



1歳頃の様子
ハイハイがとても早かったそうです

桜の聖母短大の卒業式
父、善和さんと



中学生時代の和さん
家には飾りきれないほどの
メダルやトロフィーが



場の夢を叶えたいと山梨学院大学に編入し練習に打ち込みました。そして今年、ロンドンオリンピックの代表選考会で、自己ベストを叩き出す会心の泳ぎを見せ、四年越しの思い「オリンピック」という夢舞台への切符を手に入れました。

震災が起きたときは富山で合宿中だったという和さんは、テレビで見る故郷をとても心配していたといいます。震災当日には奇跡的に父親の善和さんと電話が繋がりに

家族の無事を確認して一先ず安堵したそうです。小学生の時に、盆踊りや熊川海岸にも遊びに来ていたという和さんは、母親の故郷でもあり、祖母の豊子さん、叔母の理恵さんが暮らす大熊町のことも大変気にかけていました。幸い、豊子さん、理恵さんは三月十四日には福島市へ避難することができ、震災から一年が過ぎて、ようやく少し落ち着いてきたそうです。



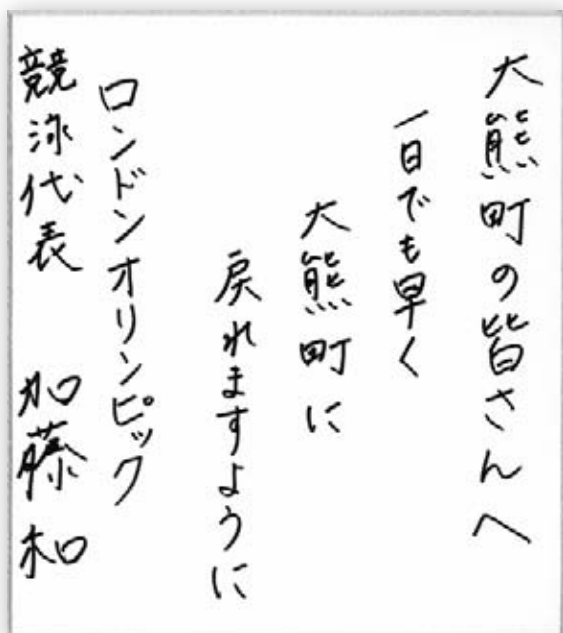
鈴木豊子さん・鈴木理恵さん

祖母の豊子さんは「自分の孫がオリンピックに出るなんてたまげました（笑）最初は実感が湧かなかったけれど、だんだんに実感が湧いてきて、これは大変なことだ

なあと思っています」とうれしそうに話しました。

レースの後は、かの子さんの元へ大熊町の恩師や友達から「涙が出るほどうれしかったよ」といった電話が掛かってきたそうです。かの子さんも「私達もそういう風に喜んでもらえることがうれしい」と二重の喜びを感じていました。和さんはロンドンでの目標を「日本記録、自己ベストを出して決勝に残る」と話していたそうです。

およそ一ヶ月後に迫ったロンドンオリンピック。私たちもテレビの前から精一杯の声援を送りましょう。

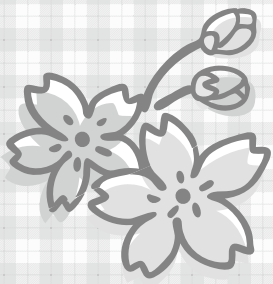


加藤選手から大熊町へメッセージを頂きました

Check!!

ロンドンオリンピック日程

開会式：7月27日🇯🇵
競泳：7月28日🇯🇵～
(女子200m個人メドレー：7月31日🇯🇵)



大熊中学校 卒業式

3月13日(火)



斉藤芳信校長



新生活の 第一歩



三月十三日、会津若松市文化センター第三十九回大熊中学校卒業証書授与式が行われ、卒業生七十一名が参加しました。

式では、斉藤芳信校長が小説家井上靖の「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」との言葉を引用し、「努力に無駄なものなど何一つない、努力は形を変え、必ず人に成果となってもたらされる」と語りました。

また、卒業生代表の一ノ瀬まみさんは、在校生に「新生大熊中学校の歴史を築き上げてくれることに期待しています」と言葉を送り、「大熊中学校で共に学んだ絆。震災によって離ればなれとなってしまうた友達との絆。私たちは大切な思い出を胸に抱き、未来への新たな一歩を踏み出します」と別れのあいさつを述べました。



3-1担任
鹿山先生

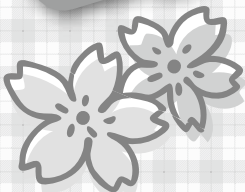
この一年、本当に子供達は良く頑張ってくれましたし、強くなりましたし、優しい気持ちを持って育ててくれたと思います。これからの活躍を祈っております。

3-2担任
堀内先生

大変な経験をした一年だったかもしれませんが、子供達は大きく成長したと思います。この日を迎えられたのも大熊町民のみなさまのおかげだと思います。本当にありがとうございました。

3-3担任
折笠先生

卒業おめでとうございます。この一年でたくましく育ったと思います。また、成人式で会えることを楽しみにしています。



熊町小学校 大野小学校 合同入学式

4月6日(金)

福島県双葉郡大熊町立
熊町小学校・大野小学校合同入学式



卒業&入学おめでとう!!

四月六日、会津若松市河東町の小学校体育館で、熊町小学校・大野小学校合同入学式が行われ、熊町小学校十三人、大野小学校十六人の合わせて二十九人が晴れの舞台へ臨みました。

新入生たちは、上級生のお兄さんお姉さんに手を引かれながら入場。最初は少し緊張した面持ちでしたが、式が始まり新入生の名前がひとりひとり呼ばれると、みんな元気な声で返事をしていました。

式では、佐々木茂美熊町小学校校長が「あいさつをしっかりとすること」「丈

夫な体をつくること」「毎日きちっと勉強すること」の三つのことを目標にすること、渡邊義人大野小学校校長からは「学校生活を楽しく送るために、本をたくさん読み、頭と心を鍛えましょう」と、新入生に向けてお話がありました。

その後、新入生代表の赤井唯斗君と伊賀勇斗君が登壇し、両小学校の校長先生からそれぞれ教科書を贈られ、新一年生たちはいよいよ始まる小学校生活にわくわくしている様子でした。



スマイルネットワーク

大熊のみんなの笑顔をお届け

3



このコーナーでは笑顔でがんばっていらっしゃる大熊町民の方を紹介させていただきます。

今回は、大熊町内の6号線三角屋交差点付近で営業されていた「あお整骨院」が、いわき市にて営業を再開されたため院長の志賀さんにお話をお伺いしました。

身体だけでなく気持ちまでリフレッシュ!!

あお整骨院 いわき市 志賀 隆洋 さん

開院が早かったこともあり、「早くに再開してすごいいね」とか、「知っている先生の顔を見ると安心する」など言ってもらえ嬉しかったです。また、色は青色から暖色に変更しましたが、敢えて看板のデザイン

再開されてからお客さんの反応はいかがですか？

震災直後は家族に小さい赤ちゃんがいましたので、独自に避難して山形・栃木までお世話になり去年の6月にいわき市に落ち着きました。元々の患者さんがいわき市に多く避難されていると聞き、偶然にも知人の先生からも今のこの場所を紹介され、ここなら良いかなと思いついて再開することを決めました。

はじめにこちらで整骨院を再開されるまでの経緯ときっかけを教えてください。



オレンジ色にリニューアル。この看板にピンときたらお立ち寄りください。

モダンな院内でゆったりと。保険診療も行なっております。

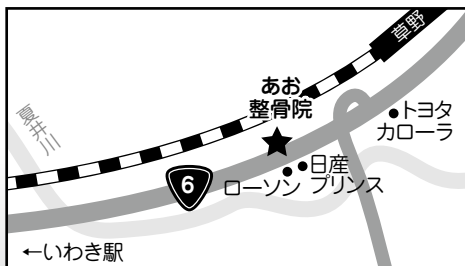


今後も不安な部分はたくさんありますが、気落ちせず前を向いてがんばりましょう！

同じ町民の患者さんに来院いただく、こちらでも元気をもらえます。お近くにお寄りの際や看板を見かけた時にはぜひご来院ください。

町民の方へメッセージをお願いします。

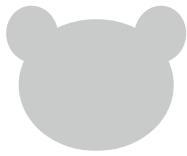
は以前と同じデザインを使用しています。それで少しの方にも前を通った時に思い出して気付いてもらえればと思います。



あお整骨院

〒970-8021
福島県いわき市平中神谷字前河原20-1
●TEL・FAX 0246-57-0123

受付時間▶午前 8:30 ~ 12:00
午後 2:30 ~ 7:00
休診▶水曜・日曜午後・祝祭日



つながっぺ!おおくま 社会福祉協議会からのお知らせ

会津若松出張所 〒965-0873 会津若松市追手町2番41号（会津若松市役所 追手町第2庁舎内）TEL:0242-29-5760 FAX:0242-29-5761
いわき連絡所 〒970-8026 いわき市平字菱川町1番地の3（いわき市社会福祉センター内）TEL:0246-38-8920 FAX:0246-38-8921

生活支援ボランティアセンターよりお願い

避難生活も1年以上たった今、これからのボランティア活動への参加協力の確認を兼ねて平成23年度に当ボランティアセンターへ登録いただきました方は、生活支援ボランティアセンターまでご連絡下さい。

また、登録はしていないがこれからボランティア活動の協力をいただける方、「私は何かお手伝いがしたい」「私はこんなお手伝いができるよ」という方、一緒にはじめませんか？皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

各方部に避難されている方々の集いの場の支援活動を計画しておりますので、すでに実施している方、これから計画している方、実施したいがやり方や内容でお困りの方、ぜひご連絡ください。ご要望や困りごとなどがありましたらどんなことでも構いませんので、お気軽にご連絡ください。



追悼及び復興イベントの開催



サロンでクリスマスリース作り

問合せ先

大熊町生活支援ボランティアセンター TEL0242-29-5760

避難されている皆様へ

社会福祉協議会は会津若松市といわき市に事務所を設けておりますが、避難先が県内外にわたり、手を差し伸べたくても届けられない状況にあります。避難されている町民の皆様には、「知りたいこと」「困っていること」等がございましたら、私ども社協に相談をいただいても結構です。また、避難先の最寄りの社会福祉協議会や役所に電話等での相談をいただければと思います。

こうした自分から「声を出すこと」や「つながりを持つこと」が、孤立化や孤独死を防ぐための第一歩であると考えますので、どうぞ気後れせずお問い合わせください。



問合せ先

大熊町社会福祉協議会 TEL0242-29-5760

7月28日(土)「大熊っ子みんな集まれ」を開催します!

この度、震災により離ればなれになった子ども達の再会を目的に『大熊っ子みんな集まれ』を実施します。3月11日以来、再会ができていない児童・生徒の皆さんへ是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

対象の皆様には別に通知しておりますが、万が一届いていない場合は下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。



開催日時 7月28日(土) 10時～15時

開催場所 いわき市スパリゾートハワイアンズ

対象者 対象者は平成23年4月2日時点(平成23年度)での小学1～6年生、中学1～3年生、教職員

参加費 入場料無料(宿泊希望者は自己負担)

交通手段 各自(自己負担) ※なお、会津若松駅からは専用バスがあります(有料)

締め切り日は6月15日(金)送付ハガキ消印有効となっておりますが、まだ投函されていない方はお早めにお送りください。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所 生涯学習課



0120-26-3844(代表)

大熊町社会福祉協議会
いわき連絡所

いわき市で避難生活を される方の身近な存在に。

今年の4月よりいわき市にある「大熊町社会福祉協議会いわき連絡所」が、いわき市社会福祉センタービルの4階に事務所移転しました。

5月の時点で約3000人に増えたいわき地区の町民の方々をサポートするため、吉田所長を始めとする9名のスタッフで対応しているそうです。

孤立化や孤独死を防ぐため、そして大熊町に居た頃と同じサービスを目指しており、スタッフの佐々木さんは「皆さん慣れない場所での生活で、分からないことや不便なことがたくさんあるかと思いますが、ぜひ気軽にお声をかけていただいて少しでも慣れない環境での生活と一緒に歩み寄れば。」と話します。

6月からは配食サービスや外出支援サービスもスタートし、より町民の皆さんの身近な存在として活動を広げていくそうです。



大熊町社会福祉協議会 いわき連絡所

場所:いわき市社会福祉センター4階

電話:0246-38-8920

みんなの

フォトギャラリー



①お名前②大熊住所③現住所 コメント



最高の笑顔♪

①志賀劉騎(りゅうき)くん
②小入野
③栃木県小山市
今はパパと離れて暮らしているけど、早くみんなと一緒に過ごせる日が来るといいな☆それまで僕、元気いっぱい頑張るよ!



熊町小・大野小
合同入学式
PHOTO



大熊中 卒業式
PHOTO



あの人に伝えたい「ありがとう」◎みんなのフォトギャラリー 投稿募集中!

A あの人に伝えたい「ありがとう」

伝えたい「ありがとう」はありませんか?直接言うのが難しい、あなたの「ありがとう」の気持ちを紹介させてください。

直筆ハガキ、
絵手紙なども
OK!

B みんなのフォトギャラリー

みなさんがお撮りになった写真を募集しております!題材はなんでもOK!



- ①お名前②大熊町での大字名③現在お住まいの都道府県や市町村名をお書きください。※匿名をご希望の際は、その旨お知らせください。
 - Aの「あの人に伝えたい『ありがとう』」はメールの本文かテキストファイルを添付してご応募ください。ハガキ・封書での投稿もお待ちしております。
 - Bの「みんなのフォトギャラリー」は携帯メールかPCメールに画像を添付して、画像のタイトルやコメントも記載してください。
- ※掲載はモノクロになります。※ご応募いただいた原稿は返却できませんのでご了承ください。

メールでの応募先

okuma@next-hamashin.co.jp (右のQRコードからもメールを送れます。➡)

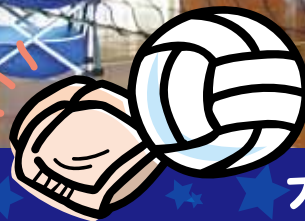
郵送での応募先

〒965-0873 福島県会津若松市追手町2番41号
大熊町役場 会津若松出張所企画調整課「おおくまの絆」係





KIRA★KIRA KIDS Vol.3



大熊リトルベアーズ



**大熊リトルベアーズでは
チームメイトを募集しております!**

場 所 ▶ 大熊町小学校体育館(旧河東第三小学校)
時 間 ▶ 月・水・金曜日(放課後)、土曜日(午前中)
連絡先 ▶ 090-9635-8393(監督: 山本さん)

大熊リトルベアーズは、大熊町の小学生で結成されていた県内でも有数の強豪バレーボールチーム。震災以降はチームメイトはそれぞれ離ればなれとなり、バレーボール自体ができる環境ではありませんでした。そんな中、監督の山本さんは同じ避難先に居たチームメイト2人の「バレーボールがやりたい!」という声を受け、なんとか会津若松市内の地元チームの練習に参加させてもらうことができたそうです。少しずつ人数が増え、6名を超えた時「これで試合に出られる」と思い、各方面に相談した結果、やはり相双地区のチームとして「大熊リトルベアーズ」を復活させようということになり、去年の6月に単独でチーム活動を再開されました。

最初は備品を始め、何もないところからのスタートのため苦労したそうですが、「各関係機関の方々から協力をさせていただき何とか練習ができるようになり、大変感謝をしています。」と山本さんは話します。

現在、一時期は13名まで増えたメンバーも避難先の移動などもあり8名まで減ってしまいましたが、それでも子どもたちのバレーボールをやりたいという気持ちと、双葉郡唯一のチームとして大熊リトルベアーズの名前を残したい思いで元気に練習しています。山本さんは「未経験者でも大歓迎です!一緒にバレーボールをやりましょう!」と話されていました。